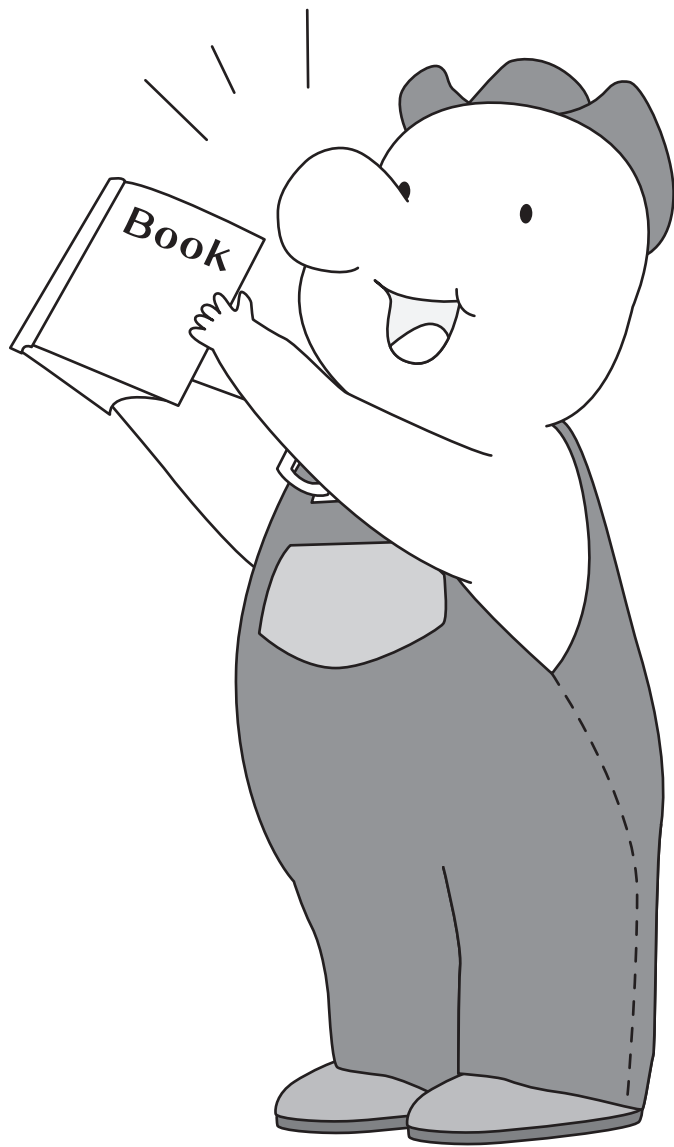


じょうずにできるかな



たしざんをしましょう。

$$1 + 6 = 7$$

$$2 + 6 =$$

$$3 + 6 =$$

$$4 + 6 =$$

$$5 + 6 =$$

6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

モマン 9-2

なまえ

たしざんをしましょう。

$$\begin{array}{c} 5 \\ \circ \circ \circ \circ \circ \end{array} + \begin{array}{c} 6 \\ \circ \circ \circ \circ \circ \\ \circ \end{array} = \quad \quad \quad \begin{array}{c} | \\ | \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 6 \\ \circ \circ \circ \circ \circ \\ \circ \end{array} + \begin{array}{c} 6 \\ \circ \circ \circ \circ \circ \\ \circ \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 7 \\ \circ \circ \circ \circ \circ \\ \circ \circ \end{array} + \begin{array}{c} 6 \\ \circ \circ \circ \circ \circ \\ \circ \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 8 \\ \circ \circ \circ \circ \circ \\ \circ \circ \circ \end{array} + \begin{array}{c} 6 \\ \circ \circ \circ \circ \circ \\ \circ \end{array} =$$

$$\begin{array}{c} 9 \\ \circ \circ \circ \circ \circ \\ \circ \circ \circ \end{array} + \begin{array}{c} 6 \\ \circ \circ \circ \circ \circ \\ \circ \end{array} =$$

6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

モマン 9-3

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

さわ^{さわ}らぬ^{かみ}神に

たたりなし



さん^{さん}にん^{にん}よ^よ寄れば

もんじゅ^{もんじゅ}の知恵^{ちえ}



さき^{さき}先んずれば

ひと^{ひと}を制^{せい}す



さる^{さる}猿も

き^き木から^お落ちる



さん^{さん}しょう^{しょう}山椒は
小^こ粒^{つぶ}でも

から^{から}ぴりりと辛い



モマン 9-4

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

さん にん よ
三人寄れば

ざる
猿も

さん しょう
山椒は
小粒^{つぶ}でも

さき
先んずれば

さわ かみ
触らぬ神に

き お
木から落ちる



もんじゅ ち え
文殊の知恵



ひと せい
人を制す



たたりなし



から
ぴりりと辛い



モマン 9-5

なまえ

線でむすびましょう。

さん にん よ
三人寄れば
もん じゆ ち え
文殊の知恵

さん にん かんが で
三人で、いい考えが出た



さる
猿も
き お
木から落ちる

めいじん しっぱい
名人も失敗するよ



さんしょう こつぶ
山椒は小粒でも
から
ぴりりと辛い

ちい
小さくてもすごいぞ



さわ かみ
触らぬ神に
たたりなし

かか あんしん
関わらなければ安心だ



さき
先んずれば
ひと せい
人を制す

さき ゆう い
先にしておくと、優位に
たてる



モマン 9-6

なまえ

線でむすびましょう。

さき
先ひとずれば
人をせい制す

さんしょう こつぶ
山椒からは小粒でも
ぴりりと辛い

さん にん よ
三人寄れば
もん じゆ ち え
文殊の知恵

さる
猿も
木おから落ちる

さわ かみ
触らぬ神に
たたりなし

さん にん あつま かんが
三人集まって考えれば、
よい ちえ が 出る



なに こと も かん けい
何事も関係しなければ
あん ぜん という こと



なに こと ひと さき おこな
何事も人より先に行えば、
ゆう 位 に 立つ こと が できる



からだ ちい さい のう
体は小さくても、才能が
すぐ あなど
優れていて侮れないこと



その 道に 優れた 人でも、
どき には 失敗 すること も ある



モマン 9-7

なまえ _____

すうじをなぞりましょう。
かけざんをしましょう。

$$7 \times 1 = 7$$

$$7 \times 2 =$$

$$7 \times 3 =$$

$$7 \times 4 =$$

$$7 \times 5 =$$

7 14 21 28 35

モマン 9 - 8

なまえ

すうじをなぞりましょう。
かけざんをしましょう。

$$7 \times 5 = 35$$

$$7 \times 6 =$$

$$7 \times 7 =$$

$$7 \times 8 =$$

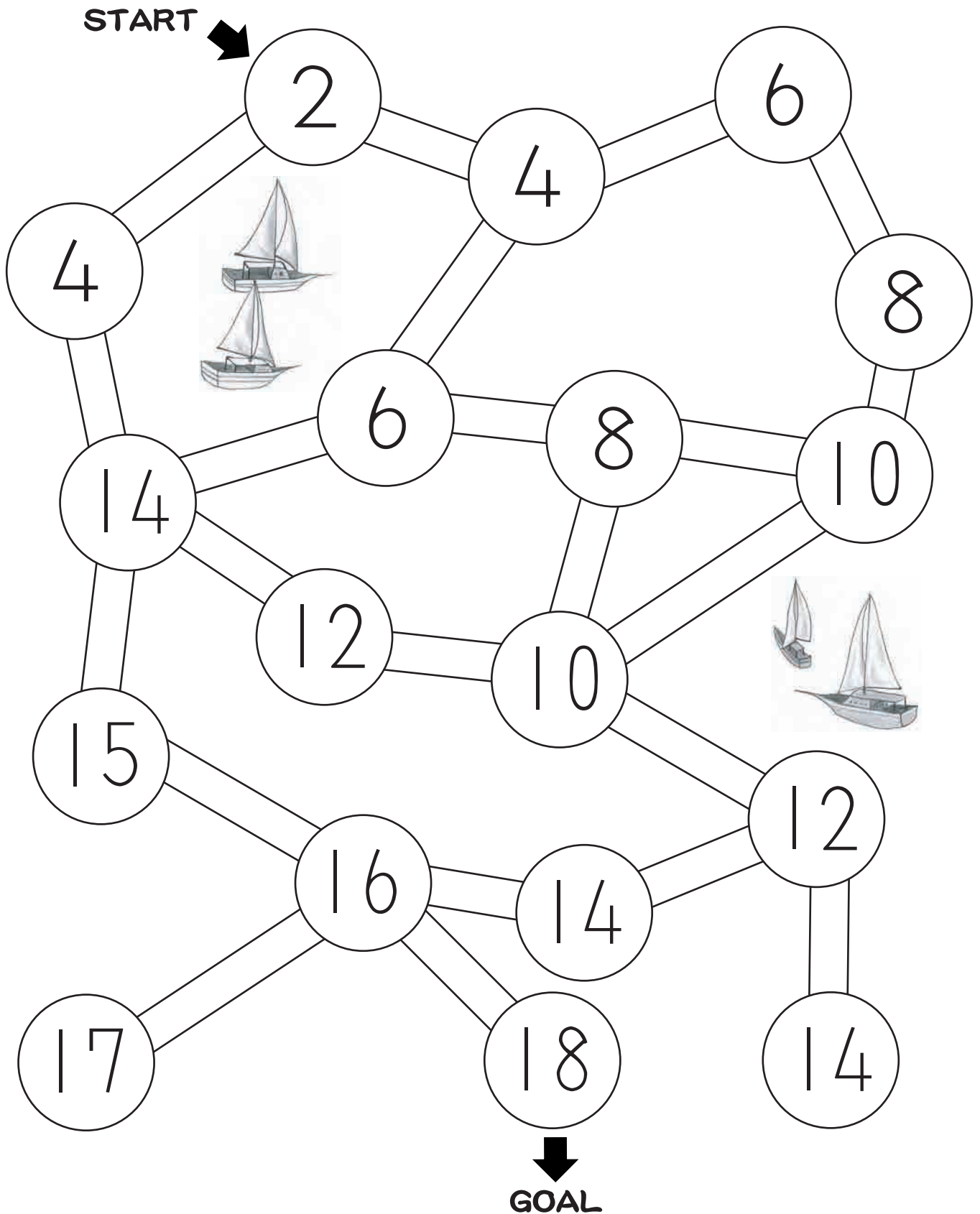
$$7 \times 9 =$$

35 42 49 56 63

モマン 9-9

なまえ

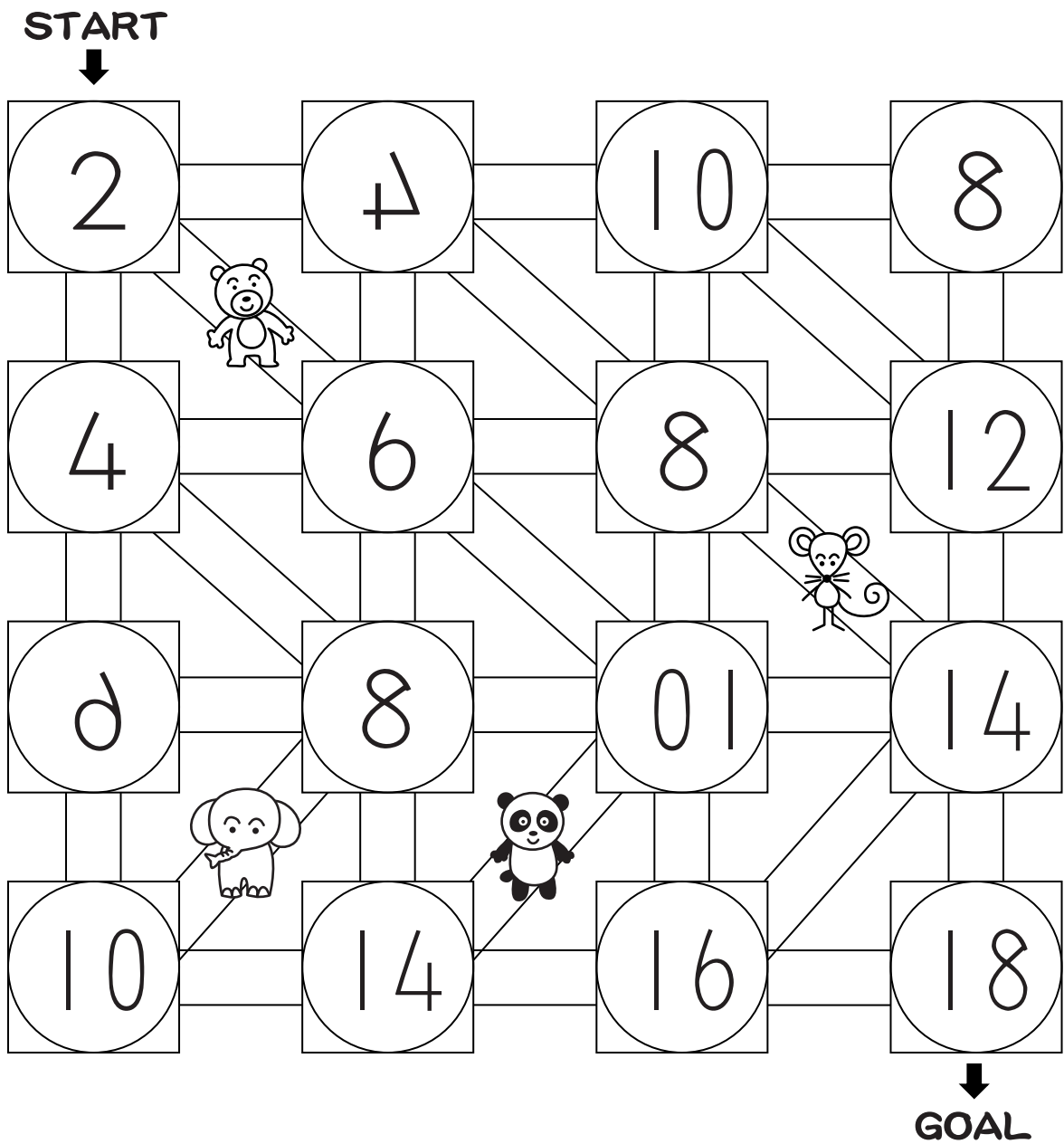
2とびで、GOAL までいきましょう。



モマン 9 - 10

なまえ

ただしい数字^{すうじ}をむすんで、2とびで GOAL までいきましょう。



モマン 9-11

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

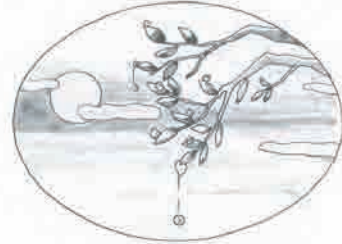
つゆ たま
露の玉

ぶらさげている
かがしかな



ひるめし
昼飯を

こずえ あめ
梢は雨を
もちながら



つき
月はやし

ありたじたじと
なりにけり



モマン 9 - 12

なまえ

せん
線でむすびましょう。

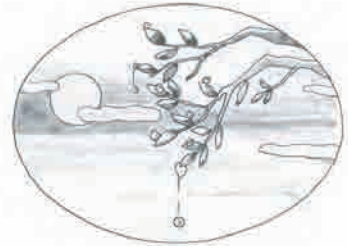
ひるめし
昼飯を

ありたじたじと
なりにけり



つき
月はやし

こずえ あめ
梢は雨を
もちながら



つゆ たま
露の玉

ぶらさげている
かがしかな



□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

つ

ゆ

の

た

ま

あ

り

た

じ

た

じ

と

な

り

に

け

り

川端茅舎
かわばたぼうしや

モマン 9 - 14

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

ひる
めし
を

ぶ
らさげ
て
い
る

か
が
し
か
な

小林一茶
こばやし
いっさ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

つ

き

は

や

し

こ

ず

え

は

あ

め

を

も

ち

な

が

ら

松^{まつ}尾^お芭^ば蕉^{しやう}

モマン 9 - 16

なまえ

はじめからおわりまで、^{すす}進みましょう。

はじめ



つ	ゆ	の	た	ま	は	と	て	も
ゆ	ま	た	り	が	お	ど	ろ	う
の	ご	ま	あ	る	い	て	い	つ
じ	は	こ	り	た	じ	た	じ	く
き	ま	ろ	い	な	た	じ	と	し
は	る	が	し	り	な	と	な	い
あ	い	し	の	お	ど	ろ	り	で
め	よ	は	た	す	で	き	に	す
が	た	く	さ	ん	ふ	る	け	り



おわり

- 1 かんはかんでも家の^{いえ}出入口^{でいりぐち}にあるかん
はなあに？

げんかん

- 2 ^{あま}甘くて^{ながしかく}長四角、^き切って^た食べるかんは
なあに？

ようかん

- 1 ふくろのようなくちばしを^も持ったかん
はなあに？

ペリカン

- 2 ^な投げ^す捨てる^とめいわくになるかんは
なあに？

あきかん

せん
線でむすびましょう。

じ ゆう
自由

ほん ぽう
奔放



せん ざい
千載

いち ぐう
一遇



ちよ とつ
猪突

もう しん
猛进



モマン 9 - 20

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

ちよとつもうしん
猪突猛进

まっすぐに、ただただ
突っ走れ!



じゆうほんぽう
自由奔放

自分のやりたいように
やるよ。



せんざいいちぐう
千載一遇

やったあ! またとない
チャンスだ。



せん
線でむすびましょう。

じ ゆう ほん ぽう
自由奔放

めったにない絶好の
機会。



ちよ とつ もう しん
猪突猛进

じ ぶん おも
自分の思うままに
ふるまうこと。



せん ざい いち ぐう
千載一遇

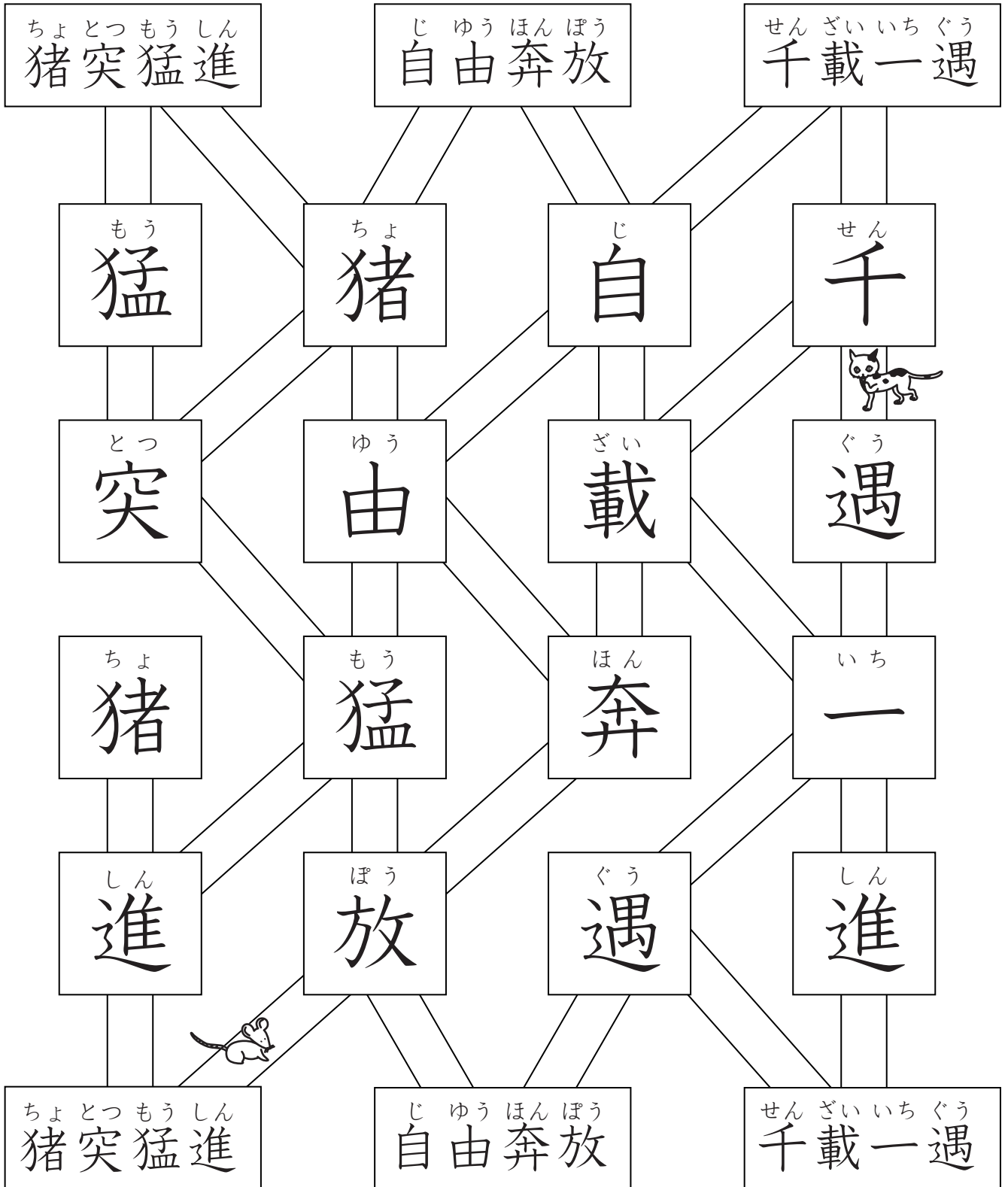
むこうみずに勢いよく
突き進むこと。



モマン 9 - 22

なまえ

線せんでむすびましょう。



き ^{みじか} 気の短いおじいさんのこぶは、さいごに
いくつになりましたか？



0こ



1こ

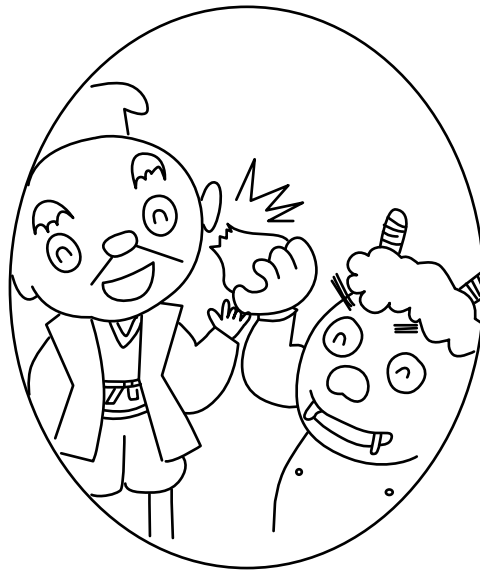


2こ



3こ

のんきなおじいさんは、どうして鬼おににこぶをとられたのですか？



- 1 こぶを、鬼おにが気きに入ったから。
- 2 おじいさんのおどりがへただったから。
- 3 次つぎの日ひもおどりにきてもらう約束やくそくのため。

モマン 9 - 25

なまえ

せん
線でむすびましょう。

はら
わたの原
こ い み ひさかた
漕ぎ出でて見れば久方の ♠

くも い ご う
雲居にまがふ ♠
おき しらなみ
沖つ白波

ひと お
人もをし
ひと
人もうらめし あぢきなく ●

よ おもう え
世を思ふゆゑに ●
ものおも う み
物思ふ身は

あま はら
天の原
み かすが
ふりさけ見れば春日なる ♡

み かさ やま
三笠の山に ♡
い つき
出でし月かも

あきかぜ
秋風に ●
くも た え ま
たなびく雲の絶え間より

い ず つき
もれ出づる月の ●
かげ
影のさやけさ

モマン 9 - 26

なまえ

せん
線でむすびましょう。

あきかぜ
秋風に
たなびく雲の絶え間より



くも い ごう
雲居にまがふ
おき しらなみ
沖つ白波



はら
わたの原
こ ぞぎ 出でて見れば 久方の



み かさ やま
三笠の山に
い 出でし つき 月かも



あま はら
天の原
ふりさけ見れば 春日なる



よ おもう え
世を思ふゆゑに
ものおも う み
物思ふ身は



ひと お
人もをし
ひと 人もうらめし あぢきなく

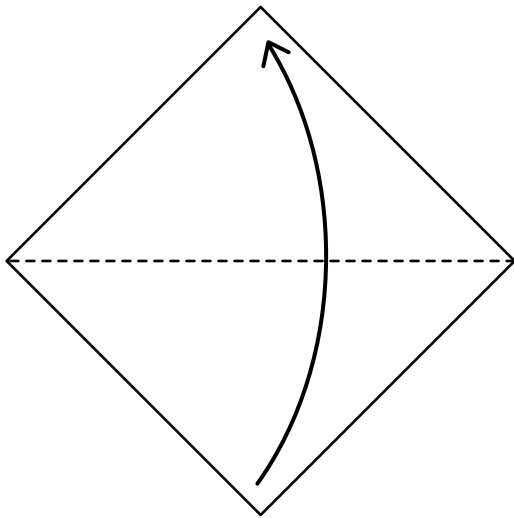


い ず つき
もれ出づる月の
かげ 影のさやけさ

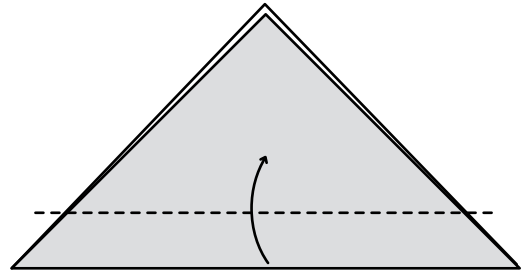


《うさぎさんのかお》

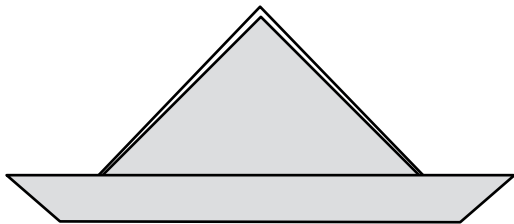
なまえ



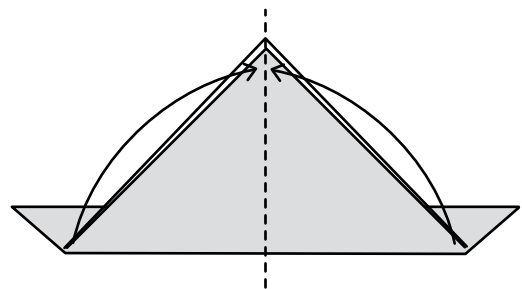
1 さんかくに おる



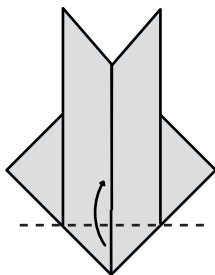
2 したの ぶぶんを すこし おる



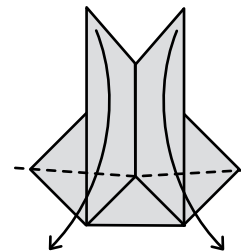
3 うらがえす



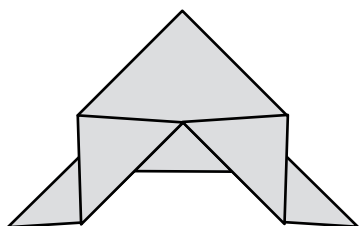
4 りょうはしを まんなかで あわせて おる



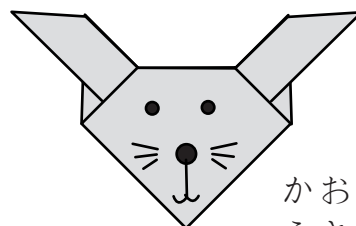
5 たにおりする



6 みみを ななめに おる



7 さかさまにして うらがえす



かおを かいたら うさぎの かんせい